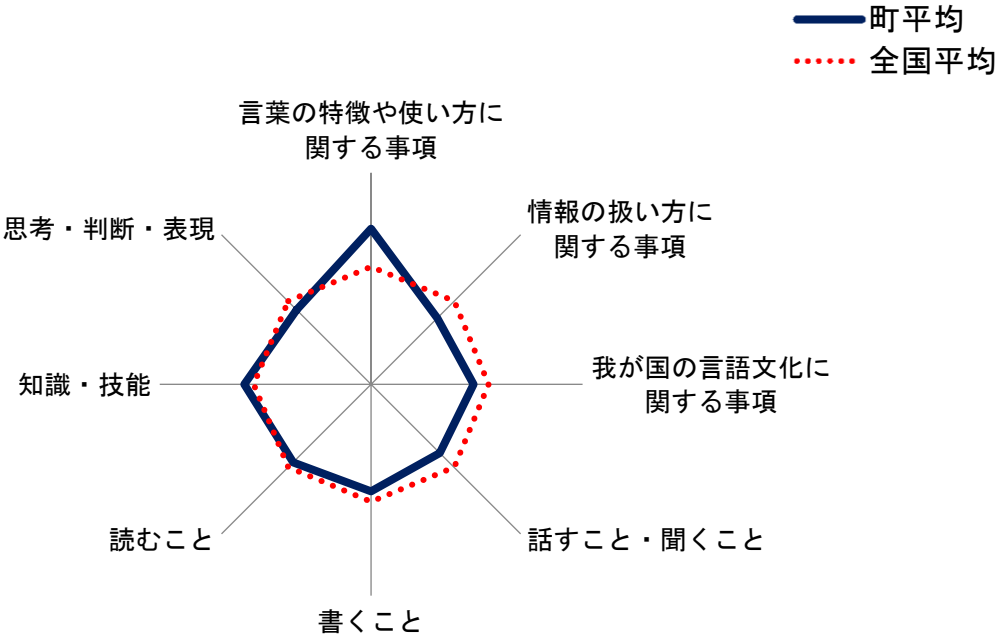
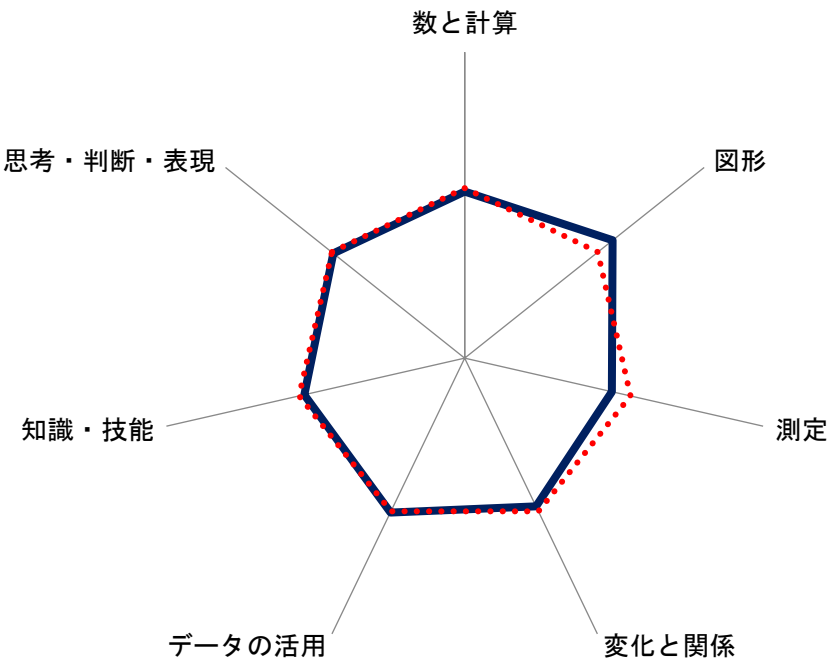


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

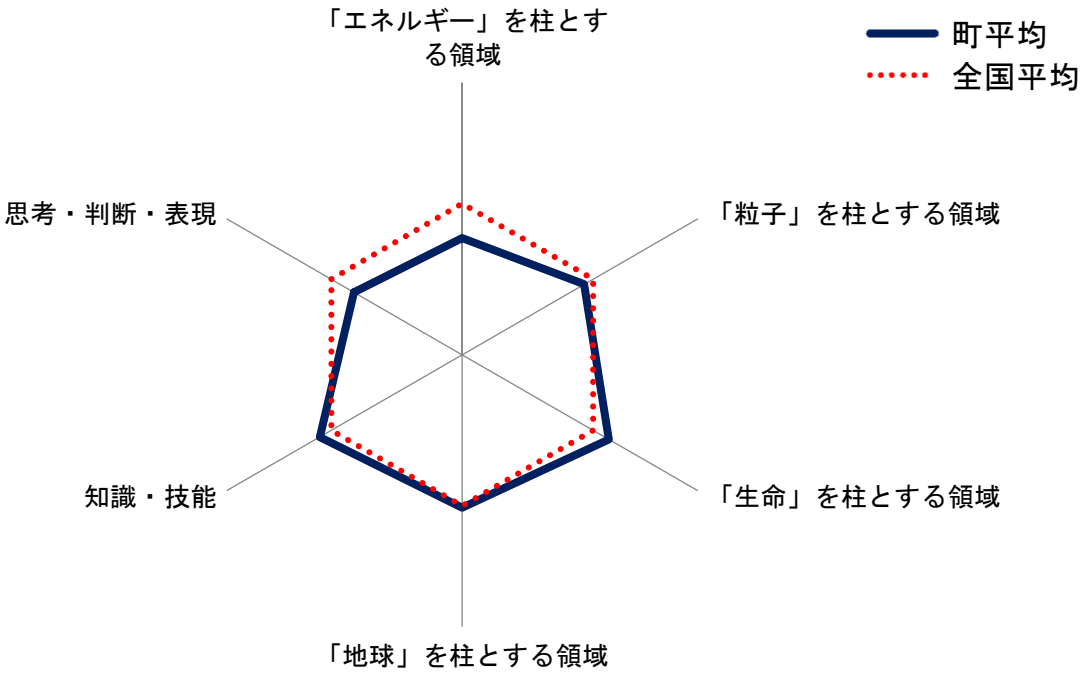


【算数】

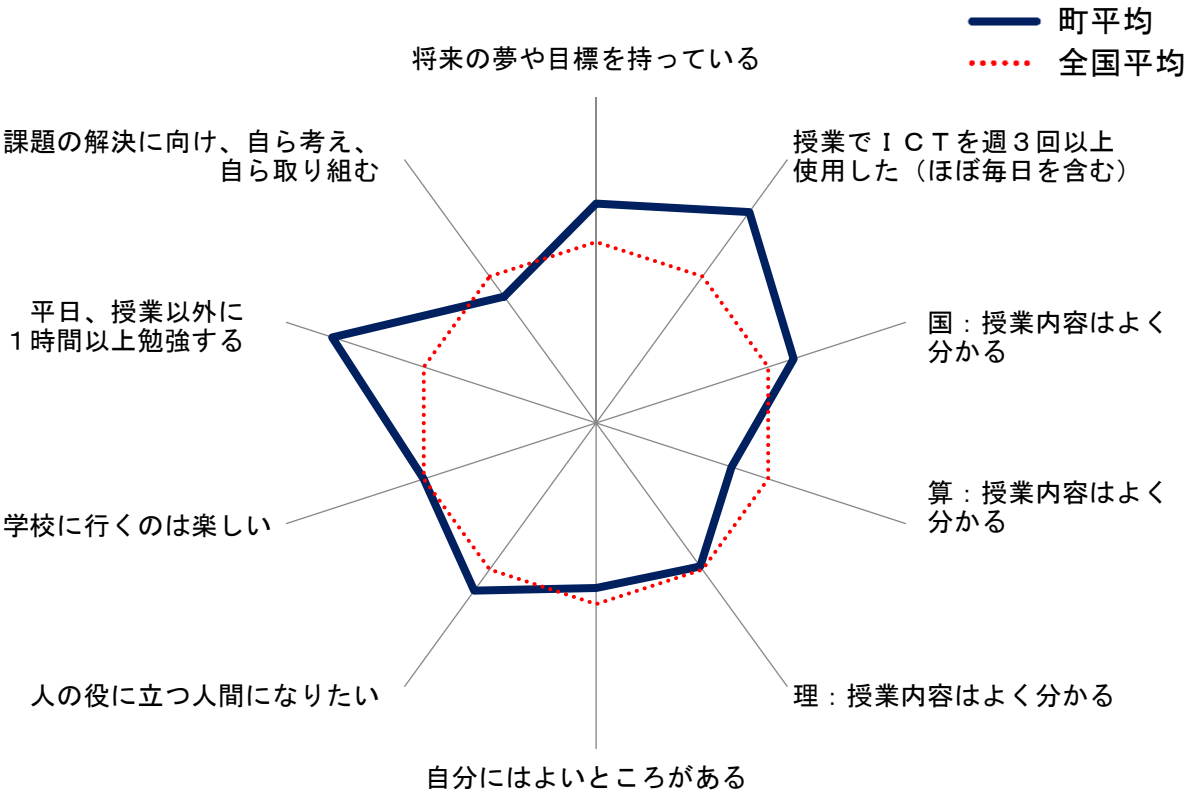


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「言語の特徴や使い方に関する事項」が全国平均を大きく上回っている。一方、理科の「『エネルギー』を柱とする領域」「思考・判断・表現」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題である。今後も、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させるとともに、知識を活用して課題を解決する活動を取り入れた授業改善を推進していくことが望まれる。

児童質問調査では、「授業でICTを週3回以上使用した」「平日、授業以外に1時間以上勉強する」「将来の夢や目標を持っている」の項目が全国平均を大きく上回っている。一方、算数の「授業内容はよく分かる」「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」の項目が、全国平均を大きく下回っている。今後も、家庭学習の更なる充実を図る取組を工夫するとともに、児童にとって「分かる」「できる」を実感できる授業となるよう、町独自の「授業改善リーフレット」等を効果的に活用した授業改善を一層推進することが望まれる。